日本医師会 R:4.12 P.01
会長 副会長 会計

会員各先生
日本医師会より周知依頼がございましたので"
お知らせいたします。 草加八潮医師会

日医発第582号（情シ40）F
令和3年10月18日

郡市区医師会長　殿

公益社団法人日本医師会
会　長　中　川　俊　男
（公印省略）

令和３年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

平素より、本会会務遂行にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年３月に WEB で開催いたしました令和２年度協議会は、お蔭さまで多くの方にご視聴いただき、盛会裡に終了いたしました。

今般、日本医師会が医療の専門家集団として、自ら先頭に立って医療現場のICT化を推進するため、今年度の協議会は「新しい時代の医療ICT－ウィズコロナを生き抜く」をメインテーマとし、「日本医師会が目指す医療ICT」、「国が目指す医療ICT」、「医療ICTのサイバーセキュリティ」、「地域医療情報連携ネットワーク（コロナ禍での有用性）」、「新しい時代の診療形態」、「医療DXを進めるための先進ICT技術」からなるプログラムで、令和４年2月19日（土）、20日（日）の２日間に亘りWEBで開催することになりました。

詳細につきましては、下記資料及びホームページをご参照いただき、会員の先生方へのご周知を賜りたくお願いいたします。会員の先生方には日医ニュース（11月20日号、12月５日号）を通じてご案内する予定です。

なお、内容等ご不明の点は担当事務局である情報システム課にお問い合わせ下さい。

記

別紙１．令和３年度日本医師会医療情報システム協議会プログラム
別紙２．令和３年度日本医師会医療情報システム協議会開催要項

○令和３年度日本医師会医療情報システム協議会ホームページ
https://www.med.or.jp/doctor/medinfo/sys/009838.html
https://www.med.or.jp/japanese/members/info/sys/2021/

以上

草加八潮医師会 3.10.18 822

№180

令和３年度日本医師会医療情報システム協議会プログラム

新しい時代の医療ICT－ウィズコロナを生き抜く

別紙１

1日目(令和4年2月19日（土）)

開始	終了	演題	演者	持ち時間
14:00	14:10	開会		
		1）中川日本医師会会長挨拶		5′
		2）運営委員会委員長・埼玉県医師会長 金井忠男挨拶		5′
14:10	15:30	I　日本医師会が目指す医療ICT	座長：堺田委員、金澤委員	
14:10	15:10	日本医師会が目指す医療ICT	日本医師会常任理事　長島公之	60′
15:10	15:20	質疑応答		10′
15:20	15:30	休憩		10′
15:30	17:25	II　国が目指す医療ICT	座長：目々澤委員、西委員、宮川常任理事	
15:30	15:50	1）基調講演「国が目指す医療ICT」	デジタル改革担当大臣	20′
15:50	16:10	2）基調講演「ウィズーコロナ時代の医療ICT」	参議院議員　自見はなこ	20′
16:10	16:25	3）オンライン資格確認・現状と展望	厚労省保険局医療介護連携政策課長	15′
16:25	16:40	4）電子処方箋の進捗状況と展望	厚労省 医薬・生活衛生局 総務課	15′
16:40	16:55	5）ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）	鶴田 真也厚生労働省健康局健康課予防接種室予防接種室長	15′
16:55	17:25	I・IIの総合討論	座長：堺田委員、目々澤委員、宮川常任理事	30′
17:25	17:30	休憩		5′
17:30	18:30	III　医療ICTのサイバーセキュリティ	座長：小室委員，長島常任理事	
17:30	17:45	1）日本の重要インフラ防護について	内閣サイバーセキュリティセンター重要インフラグループ	15′
17:45	18:00	2）サイバー攻撃から身を守るために	JPCERT	15′
18:00	18:15	3）日本医師会のサイバーセキュリティー	日本医師会情報システム課長	15′
18:15	18:30	質疑応答		15′

2日目(令和4年2月20日（日）)

開始	終了			
9:00	10:50	IV　地域医療情報連携ネットワーク（コロナ禍での有用性）	座長：川田委員、若林委員	
9:00	9:10	1）レセプト参照システム（K-MIX R BASIC）を用いた新型コロナウイルス感染症対策の事例	香川県医師会常任理事濱本勲	10′
9:10	9:20	2）在宅医療の推進と多職種連携のためバイタルリンクRを用いた「主治医副主治医制度」の事例	安芸地区医師会理事秋本悦志	10′
9:20	9:30	3）山形県医療情報連携ネットワークの県境越え広域連携～「秋田・山形つばさネット」の構築～	山形県酒田地区医師会理事鳥貫隆夫	10′
9:30	9:40	4）くまもとメディカルネットワークを用いた新型コロナウイルス感染症対策の事例	熊本県医師会副会長金澤知徳	10′
9:40	9:50	5）COVID-19流行下におけるEMS機能の活用について	石川県医師会理事佐原博之	10′
9:50	10:00	6）地域包括ケアの時代における多職種連携の重要性とICT（地域医療介護情報連携ネットワーク）活用	奈良県宇陀地区医師会長加藤久和	10′
10:00	10:10	7）新型コロナウイルス患者地方医師会委託療養管理（神奈川県モデル）	神奈川県医師会　阿南英明	10′
10:10	10:20	8）新型コロナウイルス対策におけるとねっとの活用報告	埼玉県医師会中野智紀	10′
10:20	10:30	9）たいせつ安心医療ネット	旭川市医師会副会長・旭川赤十字病院院長　牧野　直一	10′
10:30	11:00	総合討論		30′
11:00	11:10	休憩		10′
11:10	12:40	V　新しい時代の診療形態	座長：服部委員、牟田委員	
11:10	11:20	1）オンライン診療の指針について	医療情報システム開発センター理事長　山本雄一	10′
11:20	11:30	2）時限措置である電話・情報通機器を利用した診療の総括	聖光会グループ理事長西村直久	10′
11:30	11:40	3）オンライン診療の診療報酬について	長島公之　常任理事	10′
11:40	11:50	4）オンライン診療導入の実際１	鳥羽市立神島診療所小泉圭吾	10′
11:50	12:00	5）オンライン診療導入の実際２	はちのへファミリークリニック小倉和也	10′
12:00	12:10	6）コロナ自宅待機者のオンライン診療、医師会一丸で始めます！	三浦医院院長　三浦和裕	10′
12:10	12:40	総合討論		30′
12:40	13:10	休憩		30′
13:10	15:20	VI　医療ＤＸを進めるための先進ICT技術	座長：目々澤委員、堺田委員、羽角常任理事	
13:10	13:40	1）VR/AR	東京大学先端科学技術研究センター教授 Innovation Lab室長 杉本真樹	30′
13:40	14:10	2）ブロックチェーン	東京慈恵会医科大学統合情報室研究センター長 水島洋	30′
14:10	14:40	4）AI	東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター教授（東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻兼任） 松尾豊	30′
14:40	15:00	5）日本医師会AIホスピタル推進センター	日本医師会常任理事　長島公之	20′
15:00	15:20	質疑応答		20′
15:20	15:30	閉会		
		1）次期当番県挨拶　神奈川県医師会長　菊岡正和		5′
		2）閉会挨拶　埼玉県医師会常任理事　小室保尚		5′